



山本のゆり



田野 香織

いながわ 特派員報告

第13回「町展」

(猪名川町美術展)



豊かな自然に囲まれた猪名川町も秋深し、美しい紅葉や実りの季節ですね。食欲の秋、スポーツの秋、そして芸術の秋。今回は、第13回町展に関わる様々な人たちの思いや、多彩な作品を取材しました。

猪名川町文化月間

住民の皆さんに芸術文化に親しんでいただけるよう、文化協会が中心となり、9月から11月までの間を、「猪名川町文化月間」として様々なイベントを開催しています。期間中、文化体育館では9月20日から10月24日まで、展示の部・ステージの部を設けて18のイベントが開催されました。

木版画、書、生け花、パッチワーク、吹奏楽コンサート、詩吟、ダンスなど様々な団体、芸術家による文化の競演です。

そのオープニングイベントが、9月20日から3日間、同館で行われた第13回猪名川町展です。

作品の展示は悩みます

町展の開催から遡ること一週間、文化体育館では、実行委員会の手により展示会の設営が着々と進められていました。

今回、絵画の部、立体工芸の部、書の部、写真の部の4部門は応募作品250点が寄せられ、うち151点が入選作品として会場内に展示。色、形、大きさ、作風、様々な作品

が運び込まれました。

各部門で町長賞に輝いた作品(絵画の部)「晩夏」本山正子さん、立体工芸の部「啐啄同時」藤田利親さん、書の部「桜」天上素琴さん、写真の部「待ちわびた放水」森本忠義さんを中心に、細心の注意で所定の場所に飾られます。

町展実行委員会事務局の担当者は、「隣りの作品とのバランスや、鑑賞の流れなどを考え、いったんディスプレイしますが、後で違う作品と入れ替えたりします。開催日は今日とはまたガラッと変わっていると思いますよ。」

今回、高校生の受賞者が出たことを伺うと、「そうなんですよ!絵画と、書で1人ずつ。教育長賞と、審査員特別賞を見事受賞しました。」と、とても喜ばれていました。

ずっと続いてほしい...

町展開催日は、作品のレイアウトもピタリと決まり、作品から溢れ出るメッセージを読み解く来場者の真剣な姿に特派員も小声でのインタビューです。

町外から毎年観に来ているという女性は、「知り合いが版画を出展し

おめでとう! 高校生受賞者のおふたり

▶ 絵画の部 教育長賞 野中萌花さん「明けない夜」

控えめで優しい雰囲気ながら北陵高校美術部の部長さんです。モチーフの時計を選んだ理由は? 「今しかできない表現ができればと思って。将来は絵に関わる仕事がしたいです。」

◀ 書の部 審査員特別賞 赤坂香織さん「暁窓和墨寫新篇」

「幼稚園から字を習っています。夏休みは頑張って練習しました。入賞の手紙が届いた時は嬉しかったです。卒業しても書道は続けたいと思っています。」



人だかりの講習会

最終日の午後、文化体育館のロビーは金屏風や生け花などで華麗に演出され、華々しく表彰式がとり行われました。

表彰式の後には、審査員の先生方による講習会です。すべての展示作品について、それぞれの分野の先生方が時に厳しく、優しく、鋭いアドバイスをしてくださいませ。プロフェッショナルならではの視点と説明内容に、「なるほど」とか「ああー」など、あちこちで感嘆のため息が絶えることなく聞かれました。

写真の講習をされた石川照雄先生は、「僕が作品を審査するときには、僕ならこう撮る、というふうな



で、毎年観にきています。私も絵を描いて、以前は自分の住んでる所の展示会に応募していただきました。だから猪名川町展は毎年続けていって欲しいです。」

姿勢で観るんです。撮りたい! という気持ちがあるかどうかが大切です。自分(作者の気持ち)が作品に出てこない。」

インターンシップの研修生も活躍



大阪経済大学から、インターンシップ(学生の実験就業)の2人がスタッフとして参加していました。



町展のレベルは、年々上がっていると思います。町の最高権威の美術展として、更に発展してほしいですが、一方で友だち同士で気軽に応募してくださる方もいて、それも歓迎です。



町展実行委員会・猪名川町文化協会 辻口広美会長

文化って、人から受け取ったものを自分のスキルを使って形にし、次に伝えていくことだと僕は思うんです。やっぱり人の力ですよ。今回受賞者の中に、高校生が2人おられますが、若いからと言って審査に手加減はありません。一人の作家として評価を受ける事で大きく成長してくれていると思います。

子ども達を見ていても、スポーツの得意な子もいれば美術の得意な子もいる。勉強が得意っていうのと同じくらい価値があると思います。

編集後記、デジタルカメラの普及で、写真の部への応募も盛況だそう。普段取材でパシャパシャやっている特派員も、来年は挑戦できるかな!? 各部門の「町長賞」と高校生を受賞作品は、11月3日(日)のいながわまつりで、文化体育館に展示される予定です。

ふおとにゅ〜す

ゆるキャラグランプリ 2013 いなぼうに投票してネ!



▲投票は「ゆるキャラグランプリ 2013」ホームページ (<http://yurugp.jp/>) から行ってください (ID登録が必要です)。一つのIDにつき1日1回までです。投票期間は11月8日まで。いなぼうへの投票ページは右記のQRコードから。



野生動物のはく製を展示

▶町では、身近に棲息する町内の野生動物の生態を知っていただくようと、10月9～22日まで、生涯学習センター1階ロビーで、シカ・イノシシ・アライグマなどの野生動物のはく製・パネル展示、県内の野生動物の生息状況・農林業被害の紹介などをしました。



秋山味覚まつりを開催



▲▶10月13日、道の駅いなわがわで第13回いなわがわ秋山味覚まつりが開催されました。まつりには町内外から多数来場され、鮎の塩焼きやみたらし団子、いなぼうバーガーなど猪名川町の秋の味覚を堪能しました。



そばの花満開



▲町内の畑で町特産品の「そば」の花が白いじゅうたんのようには咲き広がりました。今年のそばの栽培面積は約26ha。11月に収穫して乾燥し、「道の駅いなわがわ」で11月30日、12月1日に開催される新そばまつりからご賞味いただける予定です。



▲夏も終わりを告げようとしていた9月30日、林田にお住まいの藤木さんから、鳥の形をしたゴーヤが届けられました。暑かった今年の夏を乗り越えた鳥ゴーヤは、ひとときの癒しを与えてくれました。

「恋するフォーチュンクッキー猪名川町 Ver.」 公式認定を町長に報告

◀10月10日、「恋するフォーチュンクッキー猪名川町 Ver.」の動画を制作した住民ボランティアのメンバーが、AKB48 YouTube オフィシャルチャンネルで公式認定されたことを、町長へ報告しました。これは、町の住民やグループなど約400人が登場する動画映像で、町の自然や、温かい雰囲気をつんだ作品で、10日間で撮影・編集し、YouTubeへ投稿されたものです。この「公式認定」により、インターネット上で大きな話題となり、テレビなどでも取り上げられ、現在では全世界からの視聴総件数が40万回を超えています。



町内で盛大に秋まつりを開催

▶▼10月中に町内各地で秋まつりが盛大に開催されました。10月12日には、近隣4自治会(柏梨田・北田原・北野・紫合)の太鼓台やだんじりが合流し、担ぎあげや南田原獅子舞会による獅子舞の演技が披露され、多くの見学者が楽しみました。



「もしも」の時に備えて 役場で危機管理研修・消防訓練を実施



◀▲10月17日、町役場本庁舎などで、危機管理研修・消防訓練を実施しました。危機管理研修では川西警察署から講師を迎え、役場職員が、さすまたやパイプイスを用いた護衛方法を学びました。

消防訓練では、火災の発見から避難完了までの一連の流れを実践しました。実際に消火器・消火栓などの操作も行い、職員は日頃からの訓練の必要性を再確認しました。

公用車にドライブレコーダーを設置



◀町では、町職員の安全運転意識の向上と事故原因の解明に役立てることを目的に、10月7日から町職員が日常的に運転する公用車55台、消防車・ポンプ車などの消防車両12台と水道関係車両6台の計73台にドライブレコーダーを順次設置しています。

みんなで 稲刈りを体験

▶10月6日、白金小学校区まちづくり協議会主催の「稲作体験事業【稲刈り体験】」が南田原地内で開催されました。105人の参加者は、秋晴れのもとで汗を流しながら稲刈りを楽しみました。稲の品種は、ヒノヒカリ。収穫量は約330kg。

